

武蔵野の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

武蔵野で見られる動物

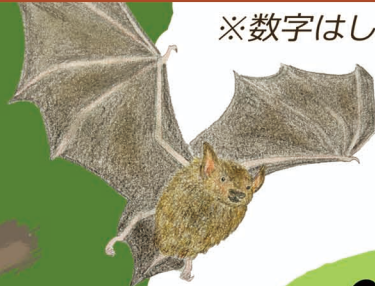
奥多摩などの山間部には、他にツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、シカ、イノシシなども住んでいます。

※数字はしっぽをふくめない体の長さ

●キタリス 22~27cm



●アブラコウモリ 4~6cm



●ヤマコウモリ 9~11cm



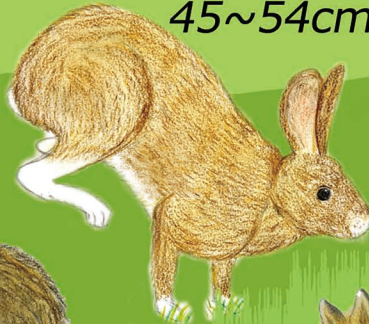
●ハクビシン 47~54cm



●アナグマ 58~68cm



●ノウサギ 45~54cm



●タヌキ 53~61cm



●キツネ 39~70cm



●ジネズミ 6~8cm



●アライグマ 42~68cm

●アカネズミ 8~14cm



●カヤネズミ 5~7cm



●ヒミズ 9~10cm



●イタチ 23~36cm



●アズマモグラ 12~15cm



*しめった土や、雪の上で足あとをさがしてみよう！君の家の近くにもすんでいるかもしれないよ！



●イヌ

大きさはいろいろ。私たちが一番よく見るどうぶつのはずです。足あとはタヌキににているのでちゅうい。



●ネコ

つめをひっこめて歩くので、しずかに歩くことができます。



●タヌキ

イヌによくにしていますが、ゆびが少しひらきぎみです。人の家の近くにも住んでいます。



●キツネ

武蔵野ではタヌキよりはずっとめずらしいです。足あとはまっすぐにならびます。(右の赤い点)



●ハクビシン(前足)

武蔵野にふつうにすんでいます。木のぼりが上手で木の実も大好き。後足はもっと長く大きいです。



●アライグマ(前足)

小さな人間の手のような5本指。アメリカから来てふえてしまいました。畑をあらしたりするこまり者です。



●アナグマ(前足)

大きな前足で、つめもとてもりっぱです。後足はもう少し小さくて長いです。



●イタチ

とても小さな2cmほどの足あとです。水の近くが好きで、カエルやザリガニもよく食べます。



●ノウサギ(後足)

前足にくらべて、後足がずっと大きいです。足あとのつき方は、後足が前に出ます。(右の赤い点)



お母さんはだれですか？

生まれてまもない2頭の赤ちゃん。お母さんはどんな動物かわかりますか？右の黒い子はクマみたい？左の子は手が大きくてりっぱですよ。こたえは右がタヌキ、左がアナグマです。タヌキは子犬ににていますね。もともとイヌとタヌキは近い仲間なのです(イヌ科)。アナグマはやっぱり穴ほるので手が大きい。これはイタチの仲間です。